

## これまでの小笠原諸島におけるネズミ類対策の概要と今後の展望

(第2回 小笠原諸島における外来ネズミ類対策検討会資料一部改)

### 【現行手法の評価】

平成 21 年度に実施した駆除の結果

根絶したと考えられる島	東島
根絶した可能性が高いと考えられるが、目撃情報がある島	聳島（鳥島）、巽島
既にネズミ類の生残が確認されている島	弟島、兄島、西島、瓢箪島、人丸島、南島

- 兄島、弟島のような大面積で地形が複雑な島については根絶を達成できなかった。
- 聳島以下の小面積島嶼では、根絶を達成した可能性が高い。



### 現行手法の評価

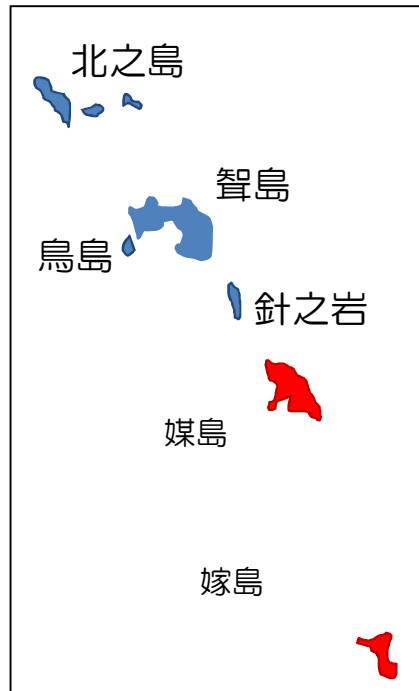
大面積（2km<sup>2</sup>以上程度）、かつ地形が複雑な島嶼での根絶は難しい  
 小面積（2km<sup>2</sup>以下程度）、かつ地形が複雑でない島嶼では、根絶の可能性はある

### 【今後の小笠原諸島でのネズミ類駆除における対応案】

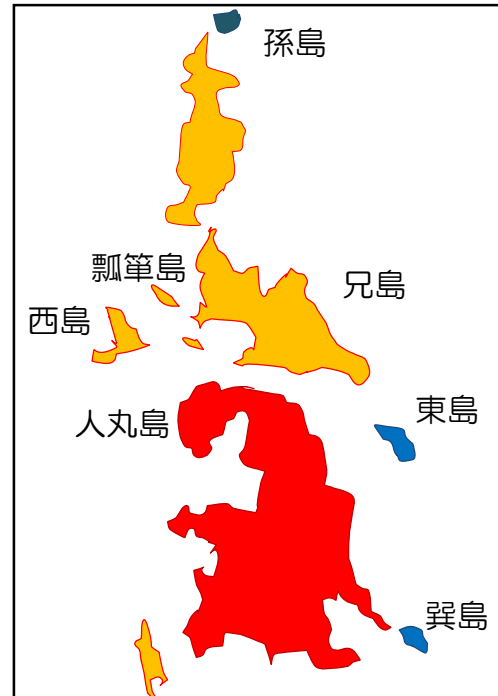
小面積の属島	母島属島	現行手法をベースとした駆除の実施。
	嫁島、媒島など	バードストライクの危険を回避するため、高々度からの散布、及び、そのために必要な粒剤専用散布機の導入を検討。
大面積かつ地形が複雑な属島	兄島、弟島、北硫黄島など	将来的に第2世代を使用した根絶の実施に向けた準備をしつつ、必要な場合には現行手法によって個体数を低減させるための駆除を実施。
有人島	父島、母島	根絶は困難である。属島への再侵入を回避する為の対策の実施、一部のゾーニングされた地域での持続的な低密度管理などを実施。

- ◆ 根絶技術は未確立。  
父島属島及び聳島属島の一部で実施したが、兄島、弟島などで根絶に失敗している。
- ◆ 一時的な低密度化の効果は出ている。  
実施島嶼においては、陸産貝類や在来植生の回復等、成果が出ている。

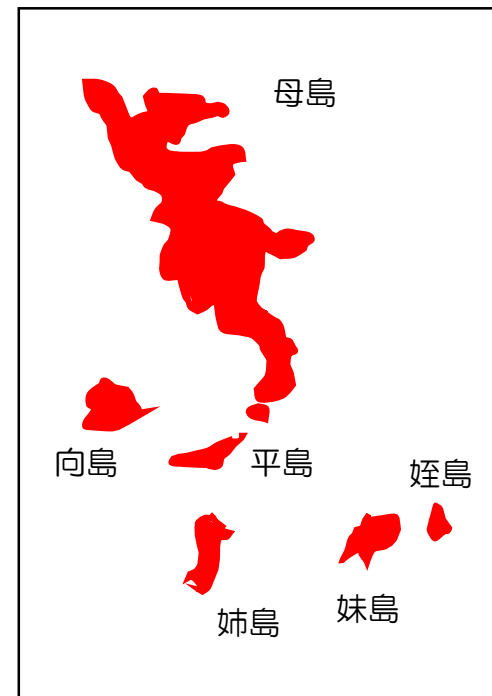
聳島列島



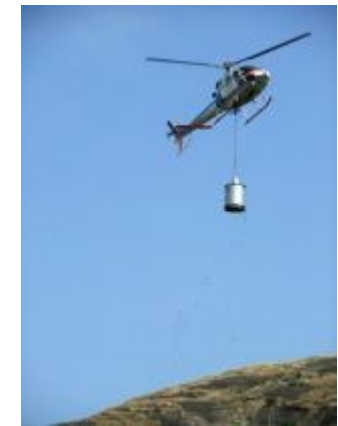
父島列島



母島列島



- 現在ネズミの生息が確認されていない島
- 現在ネズミが生息している島
- 駆除を実施したが、ネズミが残存している島

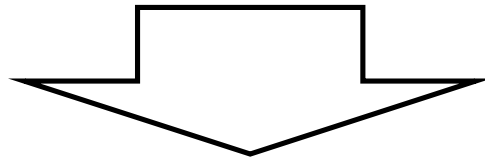


- ◆ 毒餌の空中散布

## 有人島における種間相互作用を踏まえた ネズミに関する対策の推進について

### 関係者による情報・意見交換会 (H26. 7. 30)

- ・ 父島列島生態系保全管理WG
- ・ 小笠原諸島における外来ネズミ類対策検討会
- ・ アカガシラカラスバト保護増殖検討会
- ・ 小笠原ネコに関する連絡会議（環境省、林野庁、都、村、村教育委員会、自然文化研究所）
- ・ 管理機関（環境省、林野庁、都、村）



### 具体的な対策等の検討・実施

各検討会・管理機関等において、それぞれの役割分担に基づき検討・実施

- ・ 小笠原諸島における外来ネズミ類対策検討会
- ・ アカガシラカラスバト保護増殖検討会
- ・ 小笠原ネコに関する連絡会議
- ・ 小笠原諸島世界自然遺産地域連絡会議 地域課題検討WG
- ・ 管理機関

※検討・実施にあたっては、事務局等を通じ、相互に情報共有・調整

### 父島におけるネズミをとりまく種間関係の整理

- ・ 父島列島生態系保全管理WG

※管理機関・専門家による調査データを活用

情報提供